

平成31年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査の概要

帯広市立西小学校

～国語科～

全国・全道の平均正答率を上回る結果となりました。また、学習指導要領の領域において、「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」において学習事項の定着が見られましたが、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で課題が見られました。また、問題形式においては、記述式の問題において全国・全道を上回る結果となりました。

～算数科～

全道の平均正答率と同等の結果となりました。学習指導要領の領域において、「図形」の領域は、全国・全道と同等の結果となりましたが、「数と計算」「量と測定」の領域では、学習事項の定着が若干低く、今後の課題となりました。

～児童質問紙～

児童質問紙は子どもたちの学習状況、生活状況、規範意識や自尊感情などを質問形式で回答したものを集計した結果です。

<学習状況>

- ・学習意欲が高く、向上心を持っていることがうかがえました。
- ・忍耐力・社会性・感情のコントロールなどが高いことがうかがえました。
- ・読書が好きな児童が多いことがわかりました。

<生活状況>

- ・基本的な生活習慣が比較的定着しています。
- ・家庭において、親子の会話やコミュニケーションがとれていることがわかりました

<規範意識等>

- ・規範意識が定着しています。
(ルールを守る・困っている人を助ける意識が高い)
- ・自己肯定感・自己有用感が高く、何ごとに対しても意欲的に取り組む傾向が見られます。

～改善策（学校としての今後の取組）～

- (1) 定期的にチャレンジテストを実施し、学習の定着度を結果や数値として「見える化」し、自校の実態把握と学力向上・授業改善に役立てていきます。
- (2) 算数科において習熟度別の少人数グループ学習を積極的に取り入れ、「できる・わかる楽しさ」を実感させ、基礎・基本の確実な定着を図ります。
- (3) 家庭学習の習慣化を図るために家庭との連携・協力をより一層深め、個に応じた無理のない、適切な家庭学習への取組を進め、質と量の向上を目指します。
- (4) 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」「数と計算」「量と測定」の領域の向上を図るため、授業改善や家庭学習を含め、この領域の学力向上に向けた取組を全校体制で検証・改善していきます。